

送辞

肌を震わす冷たい風もいつしか和らぎ、暖かな春が近づいて参りました。この春の訪れを感じる今日の良き日に、新たな門出を迎えられる卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。晴れて東雲を旅立たれる皆様に、在学生を代表して、ひとことお祝いの言葉を申し上げます。

今、皆様は、この松山東雲女子大学・松山東雲短期大学で過ごされた四年間、または二年間の多くの思い出を振り返っておられることでしょう。慣れないスーツを身にまとい、これから始まる大学生活に緊張と心躍らせられた入学式の日から、今日までたくさんのご経験を体験されてきたことと思います。

学生生活においては、清涼祭や東雲祭などの行事に参加し、ご友人と多くの忘れがたい思い出を作ってこられたことでしょう。また、部活動やサークルに熱を注ぎ、大会に向けて練習に励む日々もあったことと思います。睡魔と時間に追われながらも友だちと助け合って乗り越えたテスト期間や、悩みながらも少しずつ成長する実習経験。共に励まし合った就職活動など、一つひとつの大切な思い出が今、脳裏によみがえっていることでしょう。中には苦しいことや辛いこともあったかと思えます。特にこの三年間は、新型コロナウイルスの影響を受け、思うように過ごすことができず、悔しい思いもたくさんされたことでしょう。そんな中でも、できることを探し、日々努力された結果、今後訪れる試験を乗り越えられる力を身に付けられたのだと思います。

皆様は、今まで過ごされたこの大学生活の中で多くの方に出会い、影響を与え合われ、支え合ってこられました。どんな時も温かく応援してくださったご家族、悩みや不安、楽しいことを分かち合えるご友人、親身に相談に乗ってください。勇気が出る言葉をくださる教職員の皆様方、そんな東雲の素敵な方々のことを忘れないでください。ここで過ごされた

日々は、きっと皆様の今後の人生の財産となり、誇りとなることでしょう。皆様方と過ごせた時間、経験は私たち在校生の誇りでもあります。今後、私たちは皆様方が築き守ってくださった東雲を、これから続く後輩たちに胸を張って引き継いで行けるように守り、全学生が楽しい日々を送れるよう精進して参ります。

これから皆様は、それぞれの道を歩んでいかれることになります。社会の荒波の中で、今までに経験したことのない不安や戸惑い、時には逃げ出したくなるような重圧を感じられることもあるかもしれません。そんなときにはこの桑原キャンパスでの学びや、ご友人との思い出を思い出し、東雲に再び戻って来てください。優しい先生方と職員の方が温かく迎え入れてくださると思います。そして明日へのエネルギーをくださることでしょう。

最後になりますが、皆様がここでの四年間または二年間で身につけられた学びや自信、希望を持って今後の人生を歩まれ、明るい未来を切り開いて行かれますよう心からお祈り申し上げます。

まだまだ名残は尽きませんが、皆様のご健康と今後のさらなるご発展をお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。

二〇二三年三月十日

松山東雲女子大学

松山東雲短期大学

在学生代表 大倉千怜